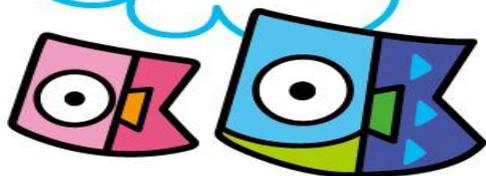


# 子育てのヒント

## 子育て エピソード集



幼稚園、小学校の  
活動の中からの  
事例です。



## 教師編パート1

子供の素朴な疑問や、心温まる言葉、幼稚園、小学校教師からの認めや励ましの言葉などの実例です。



# 加須市立加須幼稚園



きょうも  
たのしく  
すごしましょう！

# 生活編



## もうすぐ 年長さん！

冬になり、冷たい水を我慢しながら手洗いやうがいをしている子どもたちです。

 「お水が冷た～い！」

 「冷たくても 頑張る～！」

子どもながらも風邪の予防に努め、手洗いのポスターを見ながら丁寧に手洗いをする姿が見られます。

また、手洗いや順番待ちする子どもたちからこんな姿も…

 「Aちゃん、はい 石けん！」

 「ありがとう！」

 「Bちゃん、(先に) どうぞ！」

 「ありがとう！」

 「偉いね！もうすぐ年長さんだものね！」



頑張る姿を認め、  
まわりの子にも  
よい刺激となる  
ような援助を心  
がけています。



## 洋服たたみ名人

登園後、所持品の始末も上手になった年少児。

手慣れた手つきで、コートをつたみ始めたAさんに近寄ると・・・。

- 「袖と袖を合わせて『こんにちは！』  
 「上と下を合わせて『こんにちは！』  
 「こうやって『こんにちは！』って合わせると、きれいにたためるんだよね。」  
 「Aちゃんは、“たたみ方名人”だね！」  
 「お家でもいつもやってるの。そうするとこれもお願いってママに頼まれるの！」  
 「お手伝いも名人なんだね！」  
 「私も名人になるんだ！『こんにちは』って合わせるんだよね！  
 できた～。お家でもやってみよう！」



幼稚園と家庭とが連携し合うことで子どもたちの育ちにつながりますね。



## 魔法のことば

給食の配膳をしているときの出来事です。

Aさんの好きな献立があったようです。

- 「ひじきの煮物 多めにしてください！」  
 「すごいね～。」  
 Aさんはちょっぴり得意げな表情で、後ろに並んでいる友だちに・・・。  
 「多めにしてくださいって言うと『すごいね』って言ってくれるよ！」

Aさんのように教師からの言葉を期待した3人は・・・。

- 「多めにしてください！」(Bさん)  
 「多めにしてください！」(Cさん)  
 「多めにしてください！」(Dさん)



たった一言ですが、子どもの心を揺さぶる『魔法のことば』になったようです。





## 他者との関係編

みんなと  
いっしょで  
たのしいね!



### どうしたの?

クラス内で互いの存在がしっかり意識されている様子が見られてきたある日のこと。

欠席している友だちに気がつき、

「Aくんは？」

「今日はBちゃんがお休みだね〜。」

「Cくんは、まだ来ないの？」

このような子どもたちの会話する姿に心が温まります。

「幼稚園に来たら、いっぱい遊ぼうね！」

「なかよく遊ぶと楽しいね！」



子どもの気持ちをこ  
とばで表し、共感し  
ていくことを心がけ  
ています。



## 他者との関係②

### 〇〇〇を止める薬

気の合う友達と好きな遊びを繰り返し楽しめるようになった年少児。  
Aさんが急に泣き出しました。その様子を見ていたBさんは・・・。

「Aちゃん、どうして泣いてるの？」

AさんはBさんの声を聞き、

「おうちに帰りたーい！」

気の合う友達と遊んでいましたが、急にお母さんのことを思い出して泣き出したようです。

「せんせ〜い、Aちゃんが泣いてる！  
おうちに帰りたいてって！」

Bさんは、それでもなかなか泣き止むことができないAさんを見て、

「涙を止める薬があるかな〜」  
「あるといいね！」



友達を大切に思う純粋な心を大事に育てていきたいです。もつべきものは、やはり『友達』ですね。

## 他者との関係③

### いっしょがいいな〜

進級への期待を高めている年少児たち。

教師から新しい靴箱の使い方について話を聞いた後の一場面です。



「Bちゃんはどっちのクラスがいいの？」



「Aちゃんはどっちがいいんだよ〜！」



「いっしょがいいな〜」



「ぼくもいっしょがいいな〜」



「いっしょに言ってみる？」



「せーの」「つばめ！」「はと！」



「・・・離れちゃったね〜」



「どうしようか〜」



「一緒に遊べばいいよ！」



「そうだ、一緒に遊ぼうね！」



クラスが分かれても、友だちの絆は結ばれていることに気がついたようですね。



## 他者との関係④

### 読んであげる！

預かり保育の子どもたちの様子からです。

年少児に絵本の読み聞かせをはじめた年長児Aさんの姿がありました。

 「この絵本を読んであげる！」

 「うん！」

 「わたしもみたい！」

 「ぼくも～！」

 「いいよ！」

年長児のAさんは、数人の年少児がよく見えるように絵本を向けながら読み始めました。年少児たちは、とても嬉しそうに見ていました。読み終わると……。

 「Aちゃん、ありがとう！」

 「どういたしまして！」



相手のことを思いやる優しい気持ちが育ってきている年長児の姿を見て、安心しました。

## 他者との関係⑤

### みんなで力を合わせれば…

生活発表会に向けての活動が始まったある日のことです。

長なわの連続跳びに挑戦する子どもたちのグループは……。



「さあ、はじめますよ！」



「いいよ～」



「がんばるぞ！！」

繰り返し頑張って取り組んでいましたが、どうしても2,3人ずつしか続きません。子どもたちから徐々に不安な表情が見られてきた時です。

Aさんからすてきな言葉が……。



「みんなで力を合わせれば、きっとできるよ。がんばろう！」



「そうだね。もう一回やろう！」



「みんなでがんばろう！」



どんな困難にも友だちと一緒に立ち向かっていく“勇気”をもつことができるようになりました。



ドーナツ  
みたいだね！

## 興味・関心 編



## 靴が いっぱい！

年長児が保育所児との交流の日のこと。

「今日はどうしてあそこに靴がいっぱいあるの！」

「よく気がついたね！」

「今日は、保育所のお友だちが遊びに来て  
るんだよ！」

降園前、このことをクラスで紹介しました。

「Aちゃんは、プレイルームの靴箱にたくさん靴が入っているのはどうして？と  
言っていました。

いつもと違うところによく気がつく、  
“いい目”をもっていますね！」



いろいろなことに目を  
向ける大切さや、互い  
を認め合う気持ちを伝  
えていきたいです。



## 興味・関心②

### ふしぎな 雪！

明け方に雪が降り積もったある日のことです。  
登園後、すべり台に積もった雪が折り重なるように滑り落ちているところを見た子どもたちは・・・。

「流しそうめんみたい！」

「太いめんだな～！」

「絵の具みたい！」

「ぐにゃぐにゃしている～！」

「ふしぎだね～。」



子どもたちの様々な  
発想に感心します。  
このような感動体験  
から豊かな心が芽ば  
えてきます。



## 興味・関心③

### 切りすぎた 木？

園庭の樹木剪定が終了して数日経った日のことです。

「あれ！？（枝が）なくなってる！！」

「よく気がついたね。  
きれいになったでしょ！」

「みんなが髪の毛を切るのと同じだよ！」

「ちょっと切り過ぎちゃったね！」

「大丈夫よ！また、元気な枝や葉っぱが、  
たくさん出てくるからね！」

「そうだよね！」

「楽しみだね！」



子どもの小さな気  
づきを大事に受け  
止めていきたいと  
思います。



## 興味・関心④

### 頑張った ごほうび

生活発表会が終わってからのことです。

 「先生、30歳になったら何がほしい？」

 「え〜、少し考えさせてね！」

「うん〜、お家がほしいな！」

 「発表会で頑張ったから、僕がお家を建ててあげるよ！」

 「うれしい〜、ありがとう！」

 「何？どうしたの？」

 「ぼく、先生のお家建ててあげるんだ！」

 「私も！先生が30歳になってからね！」

発表会に向けての教師の熱意が子どもたちにも伝わったようです。心温まることばを聞き、うれしかったです。



## 興味・関心⑤

### もうすぐ 春だよ！

お天気カレンダー（晴雨表）をつけるようになってからのことです。

 「雲ひとつない空を『晴天』といいます！」

 「今日は雲がひとつもないね〜。」

 「昨日よりもあたたかいね！  
どうして寒かったり、あたたかかったりするんだろう？」

 「そうだね。よく気がついたね！  
“春”がすぐそこまできているんだね！」

 「4月から小学生になるんだ！！」

子どもたちにとって、小学校への入学は、待ちに待った“すてきな春”ですね。

